



<http://www.rupinasu-inc.co.jp/>

★最新介護医療情報★

高齢者のPCR、半額補助 本人希望で受けやすく（共同通信社 2020.9.15 配信）

政府は14日、**新型コロナウイルスのPCR検査**に関し、**発熱やせきといった症状がなくても高齢者や持病のある人が希望して検査を受ける場合に、市区町村に対し費用の半額を補助する方針を固めた。**15日に閣議決定し、予備費から支出する。

現在、PCR検査は症状があって感染が疑われる人や濃厚接触者など、保健所や医師が必要と判断した場合に限り「行政検査」として自己負担なしで受けられる。地域で感染が広がるなどして検査を希望しても、行政検査の対象とならない場合は全額自己負担。

今回の補助の対象者は、**市区町村が重症化リスクの高い人の中から設定。自己負担の有無も判断し、患者の自己負担を除いた検査費用の半額を国が自治体に補助する。**短時間で結果が出る「抗原検査」にも適用する。

高齢者や持病がある人は感染すると重症化するリスクが高い上、重症者が増えれば医療提供体制が逼迫(ひっばく)する恐れもあるため、政府は検査を受けやすい環境整備が重要だと判断した。ただ、検査には人員などの十分な体制が必要のため、導入が難しい自治体もあるとみられる。

難病 ALS 原因のたんぱく質 本来の働き解明 大阪大（朝日新聞社 2020.9.2 配信）

全身の筋肉が次第に衰えていく難病、**筋萎縮性側索硬化症(ALS)**の原因となる**たんぱく質の新たな働き**を、大阪大などのグループが見つけた。もともとは、**細胞内の「たんぱく質合成工場」のメンテナンスに重要な働き**をしていることがわかった。ALS発病の仕組みや治療法の開発につなげたいとしている。

ALSの患者の脳では、「TDP43」というたんぱく質が、異常にたまることが知られている。このたんぱく質は正常時にどう働いているのか、詳しくわかっていなかった。

そこでグループは、TDP43とくっつく物質を調べたところ、細胞内の「たんぱく質合成工場」と呼ばれる「リボソーム」を作る材料であることがわかった。

次に、マウスの神経細胞で実験したところ、TDP43を減らすと、神経細胞が持つ長い突起が伸びなくなるが、リボソームを作る材料を補給すると、神経突起の伸びが改善することがわかった。この結果から、TDP43の役割は、リボソームの材料とくっついて、神経細胞の突起に運ぶことだとつきとめた。

何らかの原因でTDP43の働きが弱まると、神経細胞の突起を伸ばすために必要なたんぱく質が作れなくなると推定された。突起が伸びない状態が続くと、神経細胞全体が衰えてしまい、ALS発病につながるとみられる。

グループの長野清一准教授は、「**工場のメンテナンスという役割に注目した新しい治療法の開発につなげたい**」と話している。

地域ルピナス講習会のお知らせ

延期中

第69回東大阪地域リハビリ勉強会
⇒理学療法アプローチとリスク管理について
～パーキンソン病症例を通して～

開催日：日程検討中
時間：午後6時30分～午後7時30分
場所：東大阪市立東体育館 第三研修室
講師：ルピナス理学療法士 井上直大



第28回城東地域リハビリ勉強会
⇒認知症予防に向けた運動

開催日：日程検討中
時間：午後6時30分～午後7時30分
場所：城東区民センター 第3小会議室
講師：ルピナス理学療法士 武田勇二

第39回忠岡地域リハビリ勉強会
⇒知っておきたい救急処置の基礎知識
～高齢者の心疾患～

開催日：日程検討中
時間：午後6時30分～午後7時30分
場所：忠岡町文化会館 地下会議室
講師：ルピナス理学療法士 松浦新吾

